

妙高原の音楽ドームに ヤマハS6Xを導入



妙高原駅前から赤倉温泉へ向かう沿道沿いのドームが目印の「音楽堂夢」。

日本百名山のひとつ新潟県妙高山山腹赤倉温泉近くの静かな森の中、昨年1月にドーム型音楽ホールが完成しました。ドーム中央にヤマハプレミアムピアノS6X。窓に映る景色は、春には森の新緑、夏は涼しさと呼ぶ深い緑、秋には紅葉、そしてしんと降り積もる雪で真っ白な世界が冬にはやつてきます。このすばらしいロケーションで奏でるピアノは気持ち良くドーム内に響きわたります。音楽堂夢をつくり上げたのは、新潟県妙高市在住の保坂秀行さん。7月6日には念願だったジエイコブ・コーラーさんのピアノコンサートが行われました。保坂さんにドーム完成までの道程を伺いました。

夢のドームをつくりたい
その「想い」だけでつくりました

——保坂さんからこの音楽堂夢でジエイコブ・コーラーさんのコンサートを聞きます、というお知らせを『ピアノの本』編集部宛にFAXでいただいたのが、今年の3月。そもそも、ジエイコブさんをこちらに呼ばれたきっかけは？

このヤマハS6Xは、名前を「神奈」と言いますが、上越市の二葉楽器さんを

通して購入し、保守管理をしていただいています。『ピアノの本』は二葉楽器さんから送ってもらい、毎号楽しく読んでいます。今年の1月号でジエイコブ・コーラーさんのインタビュー記事を読み興味を持ち、さつそくCDを買いました。何枚か手に入れた中で『ショパンに恋して』というアルバムの『クワター』を聴いたら、もう、まいりました。『シネマティック・ジャズ・カフェ』もすばらしくて、ジエイコブさんに神奈を弾いていただけたらどれだけ幸せかと。当初はプライベートで弾いていただけてもいいと考えていましたが、せっかくならコンサートをということに。熱心なファンの皆さまとこの雰囲気でも聴けたら、と30名までのツアーを企画しました。ジエイコブさんが快く受けてくださって、夢のようなコンサートが実現しました。

——天井が高く響きがよく、ピアノに座ると真正面に森が見えるとてもすばらしい空間です。どついつ経緯でドームをつくることに？

幼い頃から妙高山が好きで、ふるさとの高田から眺めるその山並みは、私に

「このドームがほかのホールと違うところは、演奏者が聴くステージ上の音と客席の音と響きが同じ、ということ。音楽堂夢はドーム空間という音響特性から、ドーム内のほぼ全員がステータスポット的ななかで、同じ音を楽しめます」と保坂さん。



【音たちのふるさと。妙高の音楽堂夢】 代表者・保坂秀行さん インタビュー

木の香りがさわやかなドームには新ストローブピアノも完備。



とつて心の風景です。12年前にリターンで地元に戻り、時間を作つては妙高に来て、日帰り温泉に入つてのんびりし、眺めのいい場所でトランペットを吹いていました。それは本当に気持ちいい。トランペットは中学時代に吹奏楽部で始めました。ピアノは姉が習つていて、どこかに羨望もあったかもしれませんが、仕事で浜松に住んでいた際、教会で聴いた演奏がすばらしくて、奏楽者をお願いして4年間教えてもらいました。ピアノをうまくは弾けませんが、自分の頭の中でアイデアが浮かびました。「妙高山の高原にドームがあつて、森の中のような環境でピアノが弾けたら楽しいだろうな」と。私は技術者で、頭の中であれこれ構想を練つていくうちに、実際に作つてみたくなつたんです。もともとこのドーム型建築にも興味がありましたし、あとは実行に移すだけでした。2年をかけて完成させました。皆さん、「想い」だけでこれができるって信じていただけないのですが、本当に「想い」だけでつくつたんです。もちろん実際の設計などプロの方にお願いしましたが、窓の位置も内装もすべて私のイメージが明確にあつて、それに基づいてつくつていきました。

「弾いてみたい」を観点に ピアノ選定

——ピアノはどのように選定されたのですか？

音楽堂夢のピアノは、皆さまの音楽人生の中で出会つていただくピアノなので、憧れのピアノであり、かつ誰でも弾きやすい「弾いてみたい」ピアノという観点でヤマハS6Xシリーズが第一候補になりました。一昨年末、S6XとS3Xと弾き比べたところ、低音の倍音の豊かな響きを体感することができ、S6Xに決めました。

選定は掛川工場で候補3台の中からこの「神奈」を選びました。私は演奏のプロではないので、音ではわかりません。そこで、響板の木目を見て一番美しいと思つたピアノに決めました。ピアノの下に潜つて見比べて(笑)。神奈の調律を担当する二葉楽器の調律師さんは、いい選び方だと言つてくださいました。「神奈」は、妙高山の外輪山の神奈山からつけました。人名占いではサービス精神が旺盛で、歌や踊りが得意と出て、決めました。音楽堂夢にとってベストのピアノに巡り会えたと思います。

——どんな方にどついつ形でこの音楽堂夢を使つてほしいとお考えですか？

いつも一生懸命ピアノを練習している自分へのご褒美として、「生のグランドピアノを響きのよい環境で思い切り弾いてみたい」という方におすすめです。音楽堂夢は直径8mの小さな空間です。都会の喧騒から離れ、誰にもじやまされず、おいしい空気を吸つて、元気を取り戻す場所、ピアノになればいいなと願つています。東京から3時間、近くには温泉宿もありますし、ぜひ、ピアノとともに妙高の自然を楽しみ、温泉に浸かつて体を



ジエイコブ・コーラーさんのピアノコンサートの模様。ドームにヤマハS6Xの音が響きわたりました。

音たちのふるさと。妙高の音楽堂夢

【利用方法】 完全予約制、貸切のみ

【予約・問合せ】音楽堂夢
〒949-2101 新潟県妙高市大字二俣
1526-617
TEL 0255-75-5035
(10:00~17:00)
Email info@ongakudome.jp
HP https://ongakudome.jp

●利用時間:4時間(午前、午後、夜間) *年中無休
定員:最大12名 駐車場:2台まで
バスポート料金(利用料・税込) *お一人様
・大人:18歳以上 7,400円
・中人(中学・高校生):12~17歳 6,400円
・小人(幼児・小学生):4~11歳 4,800円
・シニア(65歳以上):6,700円

●最大30人でわちあろ”演奏会プラン”
*4月1日~11月30日
利用時間:4時間(午前、午後、夜間)
利用人数:18人~30人
バスポート料金(利用料・税込) *お一人様
①12人分まで:6,700円
②13人目から:1,500円

●今回はちょっとだけの”2時間プラン”
*年中無休
利用時間:2時間
(午前、午後、夜間の枠より2時間)
利用人数:2人~12人
バスポート料金(利用料・税込) *お一人様
3,800円

癒し、おいしい空気と料理を味わって、
ステキな思い出をつくってほしいです。

保坂秀行さん
(はさか・ひでゆき)
1963年3月新潟県上越市
(高田)生まれ。日本大学工
学部、日本大学大学航空工
学研究所で機械工学を学
んだ後、日本楽器製造株式
会社(現ヤマハ株式会社)
に入社し、住宅設備機器の
開発・設計に従事。7年勤
めたのち、介護職に転職。
12年間に帰郷する。音楽堂
夢の起業を機に2017年6
月退職。ワールドクラスのス
モールビジネスの起業家・
経営者を目指してはじめの
第一歩を踏み出した。

ドーム空間で豊かな響きを堪能。 ジェイコブ・コーラー ピアノコンサート

「写真を見てステキなところだとは思っていましたが、実際に来てみて、森の中で弾いているような、夢のような空間で演奏ができてうれしい」と《ニュー・シネマ・パラダイス》《フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン》を演奏したあと、感想を語ったジェイコブ・コーラーさん。7月6日、音楽堂夢でピアノコンサートが行われました。コンサートのあとは温泉宿泊がセットになった一泊二日のツアーです。ツアーには東京などからファン約30名が参加しました。

1部は映画音楽をたづぶりと。水滴が降り注ぐようなイントロの《ムーリバー》、映画の世界観そのままに《ラ・ラント》、左手の同音連打が印象的な《夢やぶれて》などを演奏。2部では、日本の曲《赤とんぼ》《荒城の月》を聴きやすくかつおもしろい。シヨバン《幻想即興曲》は途中タンゴに展開。《ルパン三世》は唸るようなスリリングな低音が印象的。どれも魅力的なアレンジが光ります。レパートリーのほか、「音楽堂夢と神奈」をイメージしてその場で曲を作り即興演奏も披露。光の粒がこぼれるようなイントロからゆったりとしたメロディーを歌うように聴かせてくれました。最後は《オーバーザ・レーンボウ》でドームを温かく包み込み、聴衆の笑顔があふれました。アンコールは滝廉太郎《花》、聴衆と一緒に妙高ゆかりの《四季の歌》を歌い、さまざまなアイデアが次々と繰り出される《テイク・ファイヴ》でエネルギッシュに締め、喝采の中幕を閉じました。



ドーム内に響くヤマハS6Xの音。低音の迫力も高音のきらめきも、奏者と聴衆が同じ響きを体感しました。演奏にも熱がこもります。



サブライズで、夕食後に夜の部の演奏も！新譜収録の曲や聴衆からのリクエストなど、すべて初見か即興というアプロウラム。O&Aコーナーと時となりました。

日本語はアニメを見て言葉を耳コピし、書いて弾いたというジェイコブさん。来日10周年を記念して日本の曲を集めた「Jazz Piano Japan」を8月21日にリリースしました。